

# ✧ James Molloy - MIRA Newsletter #24 ✧

## JIMのみしまものがたり②④

### 間隔は離れていても、気持ちは繋がっています

こんにちは。

皆さまの大切なご家族やご友人が健やかに日々を送り、現在直面している変化へ対応できていらっしゃるでしょうか。

MIRA通信前号Vol.112が発行された前後から、新型コロナウイルス感染症が世界を脅かし、世界中がかつてないほどの危機を乗り越えていく事態となりました。



あした、  
げんきに  
なあれ！

そして感染拡大を防ぐため、大小さまざまな規模のイベントがキャンセルされるなど、感染者数の曲線を平らにするための対策が求められたのです。“social distancing”によって他者との接触を最小限にするよう努力を払っている時だからこそ、私は仕事やプライベートにおいて他者と繋がる必要をいっそう感じ、大変さや辛さを誰かと分かち合いたいと思いました。同じような思いの方も多いのではないのでしょうか。

MIRA通信には、三島と関係する興味深いものごとや日々の生活で思いついたことについて綴ってきました。今号も例外ではありません。幸いなことに私たちはバーチャル上一瞬にしてみんなが集まって、お互いの笑顔を見たり、励まし合い安心させたりすることが可能なテクノロジーの時代に生きています。物理的にはお互いの間隔を取らなければいけないかもしれませんが、私たちは社会的に繋がっているのです。距離を問わず友人、家族、隣人と繋がることのできるのです。

夏が近づいていますね。緊急事態宣言が解除されたとはいえ、まだまだ気が抜けない日々が続いています。皆さま、引き続きご自愛ください。そしてずっと繋がっていきましょうね。

★With hope, we move forward...step by step.

麗水学院から

## 友情のマスク

新型コロナウイルスの感染が日本国内で急速に広がり始めた2月末、静岡県立三島南高等学校（持山育央校長）に、昨年7月に友好交流の覚書きを調印した中国浙江省麗水市の麗水学院附属高級中学（丁閩方校長）から、マスク2000枚が届きました。麗水市は比較的感染者が少なく、日本でのマスクの品薄を聞いた同学院の生徒が、支援物資として送ってくれたものです。

その直後に、感染拡大防止策として学校は休校となってしまい、ようやく再開した6月初、マスクを着用した集合写真（上写真）とともに、生徒を代表して、生徒会会長の松本波音さん、生徒会書記の山本理夏さんが、それぞれ「たくさんのマスクをありがとうございます。三島南高校全員で、大切にに使わせていただきます。離れていてもお互いに支えあい、心がひとつになっているようでとてもうれしいです。」「まだまだ苦しい状況が続くと思いますが、

新型コロナウイルスに負けることなく、頑張っていきます。麗水学院の皆さまの体と心の健康をお祈りします。ありがとうございました。」と、お礼のメッセージを送りました。現時点、予定されていた両校の交流事業はすべて取りやめとなってしまっており、当面はITを活用してのやりとりを行うつもりでインフラの整備など準備を進めている（持山校長談）そうですが、早く収束して、手と手をとっての友好交流が復活するようになってほしいものです。



生徒会会長松本さん(右)と書記山本さん(左)

三島南高校



マスク、ありがとうございます！